

当院泌尿器科は「新潟県における検診発見前立腺癌の実態調査」に参加しています。

本邦の前立腺癌罹患数は年々増加傾向にあり、前立腺癌を早期に発見して適切な治療に結び付け、前立腺癌死亡率を低下させることは予防医療の視点から重要な課題です。新潟県では2004年度以来、県内統一の基準をもとにPSA（前立腺特異抗原）検査による前立腺がん検診を施行してきましたが、今回の調査はその有用性を検証するためのものです。

1. 調査の対象

2019年**5月8日**からの1年間で新潟県内の泌尿器科施設（6. 研究共同機関の項を参照）において新たに前立腺癌と診断された症例。

2. 調査の方法と登録される情報の内容

対象患者さんの日常の診療で得られた情報の中から、年齢、発見契機（検診・人間ドックか否か）、PSA値、病学的悪性度（グリソンスコア）、臨床病期（ステージ）を、診療録を用いて調査収集します。収集されたデータは匿名化した上で、特定の関係者以外がアクセスできない状態でデータセンターへ情報提供します。データセンターに患者さんのお名前を登録することはありません。

3. 登録する情報の管理・結果の公表

登録する情報は、それ自体で患者さん個人を容易に特定することはできないものですが、患者さんに関わる重要な情報ですので厳重に管理致します。情報の取り扱いや安全管理にあたっては、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「個人情報保護に関する法律」および適用される法令・条例等を遵守しています。データを公表する際は集計・分析後の統計情報のみとなりますので、患者さん個人を特定可能な形でデータを公表することは一切ありません。

4. 登録の拒否や登録情報の確認

ご自身のデータを登録されたくない場合は、登録を拒否して頂くことができます。主治医にお伝えください。なお、登録を拒否されたことで、日常の診療等において患者さんが不利益を被ることは一切ございません。

5. 研究組織

研究責任者	斎藤 俊弘	新潟県立がんセンター新潟病院 泌尿器科
研究分担者	富田 善彦	新潟大学大学院 腎泌尿器病態学分野
	笠原 隆	新潟大学大学院 腎泌尿器病態学分野
	小松原 秀一	新潟南病院 泌尿器科
	原 昇	魚沼基幹病院 泌尿器科
	渡辺 透	新潟県健康づくり財団

6. 研究共同機関

新潟大学大学院 腎泌尿器病態学分野

村上総合病院、新潟県立新発田病院、佐渡総合病院、新潟南病院、木戸病院、済生会新潟第二病院、新潟市民病院、新潟医療センター、新潟臨港病院、亀田第一病院、新潟県立がんセンター新潟病院、新潟県立吉田病院、済生会三条病院、立川総合病院、長岡中央総合病院、長岡赤十字病院、魚沼基幹病院、柏崎総合医療センター、新潟労災病院、上越総合病院、新潟県立中央病院の各泌尿器科